



## サーバ接続の管理

---

この章では、接続を確立してサーバに接続する方法、サーバから切断する方法、およびサーバ接続を表示する方法について説明します。

この章では、次の内容について説明します。

- 「vCenter Server への接続」(P.4-1)
- 「vCenter Server からの切断」(P.4-3)
- 「接続の表示」(P.4-4)
- 「ドメインの表示」(P.4-5)
- 「コンフィギュレーションの表示」(P.4-6)

## vCenter Server への接続

この手順を使用して、接続を設定して、vCenter Server または ESX サーバに接続します。

### 始める前に

- EXEC モードで CLI にログインします。
- vCenter Server 管理ステーションをインストールして実行します。
- ESX サーバをインストールして実行します。
- 管理ポートを設定します。
- Cisco Nexus 1000V から vCenter Server にアクセスできるようにします。
- Cisco Nexus 1000V アプライアンスをインストールします。
- ホスト名を使用して接続を設定している場合は、DNS を設定しておきます。

## 手順の概要

1. `config t`
2. `svs connection name`
3. `protocol vmware-vim`
4. `remote {ip address address| hostname name}`
5. `vmware dvs datacenter-name name`
6. `connect`

## 手順の詳細

	コマンド	説明
ステップ 1	<code>config t</code>  例： n1000v# <code>config t</code> n1000v(config)#	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<code>svs connection name</code>  例： n1000v (config#) <code>svs connection vcWest</code> n1000v(config-svs-conn#)	Cisco Nexus 1000V と特定の ESX サーバまたは vCenter Server 間にこの接続を追加するための、接続コンフィギュレーション モードに切り替えます。名前を使用して、複数接続情報をコンフィギュレーションに格納できます。
ステップ 3	<code>protocol vmware-vim [http]</code>  例： n1000v(config-svs-conn#) <code>protocol vmware-vim</code> n1000v(config-svs-conn#)	この接続が VIM プロトコルを使用するように指定します。このコマンドはローカルに格納されます。  • <b>http</b> : VIM プロトコルが HTTP で実行されるように指定します。デフォルトでは HTTP over SSL (HTTPS) を使用します。
ステップ 4	次のいずれかを実行します。  • IP アドレスを設定している場合は、 <a href="#">ステップ 5</a> を参照してください。 • ホスト名を設定している場合は、 <a href="#">ステップ 6</a> を参照してください。	
ステップ 5	<code>remote ip address ipaddress</code>  例： n1000v(config-svs-conn#) <code>remote ip address</code> 10.86.194.225 n1000v(config-svs-conn#)  <a href="#">ステップ 7</a> を参照してください。	この接続で使用する ESX サーバまたは vCenter Server の IP アドレスを指定します。このコマンドはローカルに格納されます。
ステップ 6	<code>remote hostname hostname</code>  例： n1000v(config-svs-conn#) <code>remote hostname vcMain</code> n1000v(config-svs-conn#)	この接続で使用する ESX サーバまたは vCenter Server の DNS 名を指定します。このコマンドはローカルに格納されます。  (注) DNS はすでに設定されています。

	コマンド	説明
ステップ7	<b>vmware dvs datacenter-name name</b>  例： n1000v(config-svs-conn#) vmware dvs datacenter-name HamiltonDC n1000v(config-svs-conn#)	Cisco Nexus 1000V が Distributed Virtual Switch (DVS; 分散仮想スイッチ) として作成される vCenter Server のデータセンター名を指定します。接続前または接続後に、このコマンドを使用できます。データセンター名はローカルに格納されます。
ステップ8	<b>connect</b>  例： n1000v(config-svs-conn#) connect	接続を開始します。この接続のユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、ユーザ名とパスワード入力プロンプトが表示されます。  デフォルトは <b>no connect</b> です。一度にアクティブにできる接続は1つだけです。以前に定義した接続が確立している場合は、 <b>no connect</b> を入力して以前の接続を終了するまでは、エラーメッセージが表示され、コマンドは拒否されます。

## vCenter Server からの切断

この手順を使用して、vCenter Server 設定の修正後などに vCenter Server から切断します。

### 始める前に

- EXEC モードで Cisco Nexus 1000V にログインします。
- 「vCenter Server への接続」の手順 (P.4-1) を参照して、Cisco Nexus 1000V 接続を設定します。
- Cisco Nexus 1000V を vCenter Server または ESX に接続します。

### 手順の詳細

	コマンド	説明
ステップ1	<b>config t</b>  例： n1000v# config t n1000v(config)#	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	<b>svs connection name</b>  例： n1000v (config#) svs connection vcWest n1000v(config-svs-conn)#	vCenter Server に接続するために、CLI グローバル コンフィギュレーション サブモードに切り替えます。
ステップ3	<b>no connect</b>  例： n1000v(config-svs-conn)# no connect n1000v(config-svs-conn)#	接続を終了します。

# vCenter Server からの DVS の削除

この手順を使用して、vCenter Server から DVS を削除します。

## 始める前に

- EXEC モードで CLI にログインします。
- 「vCenter Server への接続」の手順 (P.4-1) を参照して、接続を設定します。
- Cisco Nexus 1000V を vCenter Server または ESX に接続します。
- Server Administrator を Cisco Nexus 1000V に接続しているすべてのホストの VI クライアントから削除しておきます。詳細については、VMware のマニュアルを参照してください。

## 手順の詳細

	コマンド	説明
ステップ 1	<pre>config t</pre> <p>例 :</p> <pre>n1000v# config t n1000v(config)#</pre>	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<pre>svs connection name</pre> <p>例 :</p> <pre>n1000v(config#) svs connection vcWest n1000v(config-svs-conn)#</pre>	vCenter Server に接続するために、CLI グローバル コンフィギュレーション サブモードに切り替えます。
ステップ 3	<pre>no vmware dvs</pre> <p>例 :</p> <pre>n1000v(config-svs-conn)# no vmware dvs n1000v(config-svs-conn)#</pre>	指定された接続に関連付けられている DVS を vCenter Server から削除します。

## 接続の表示

この手順を使用して、接続を表示します。

## 始める前に

- 任意のコマンド モードで CLI にログインします。
- 「vCenter Server への接続」の手順 (P.4-1) を参照して、接続設定を行います。
- Cisco Nexus 1000V を vCenter Server または ESX に接続します。

## 手順の詳細

	コマンド	説明
ステップ 1	<code>show svcs connections [name]</code>	現在の Cisco Nexus 1000V への接続を表示します。  (注) ネットワーク接続の問題により、vCenter Server への接続がシャットダウンされる場合があります。ネットワーク接続が復元しても、Cisco Nexus 1000V では自動的に接続は復元されません。この場合、次のコマンドシーケンスを使用して、手動で接続を復元する必要があります。  <code>no connect</code> <code>connect</code>

## 例：

```
n1000v# show svcs connections vc
Connection vc:
IP address: 172.28.15.206
Protocol: vmware-vim https
vmware dvs datacenter-name: HamiltonDC
ConfigStatus: Enabled
OperStatus: Connected
n1000v#
```

## ドメインの表示

この手順を使用して、設定されたドメインを表示します。

## 始める前に

- 任意のコマンドモードで CLI にログインします。
- 「ドメインの作成」の手順 (P.3-1) を参照して、ドメインを設定します。

## ■ コンフィギュレーションの表示

## 手順の詳細

	コマンド	説明
ステップ1	<b>show svcs-domain</b>  <b>例 :</b> n1000v# <b>show svcs-domain</b>  n1000v (config)# <b>show svcs domain</b> SVS domain config: Domain id: 98 Control vlan: 70 Packet vlan: 71 Sync state: -  n1000v#	Cisco Nexus 1000V で設定されたドメインを表示します。

## コンフィギュレーションの表示

この手順を使用して、実行コンフィギュレーションを表示します。

## 始める前に

- 任意のコマンドモードで CLI にログインします。
- 「[vCenter Server への接続](#)」の手順 (P.4-1) を参照して、Cisco Nexus 1000V 接続を設定します。
- Cisco Nexus 1000V を vCenter Server または ESX に接続します。

## 手順の詳細

	コマンド	説明
ステップ1	<b>show running-config</b>	現在の設定を表示します。  Cisco Nexus 1000V が vCenter Server または ESX サーバに接続していない場合は、接続関連情報だけが出力されます。

**例 :**

```
n1000v(config-acl)# show running-config
version 4.0(1)
feature port-security
username adminbackup password 5 $1$Oip/C5Ci$oOdx7oJS1BCFpNRmQK4na. role network-operator
username admin password 5 $1$N1mX5tLD$daXpuxlAPcIHoz53PBhy6/ role network-admin
telnet server enable
ssh key rsa 1024 force
kernel core target 0.0.0.0
kernel core limit 1
```

```
system default switchport
ip access-list my66
  10 permit ip 1.1.1.1/32 1.1.1.2/32
snmp-server user admin network-admin auth md5 0x90f3798f3e894496a11ec42ce2efec9c priv
0x90f3798f3e894496a11ec42ce2efec9c localizedkey
snmp-server enable traps entity fru
snmp-server enable traps license
vrf context management
  ip route 0.0.0.0/0 172.28.15.1
switchname srini-cp
vlan 40-43,45-48
vdc srini-cp id 1
  limit-resource vlan minimum 16 maximum 4094
  limit-resource monitor-session minimum 0 maximum 32
  limit-resource vrf minimum 16 maximum 8192
  limit-resource port-channel minimum 0 maximum 192
  limit-resource u4route-mem minimum 32 maximum 256
  limit-resource u6route-mem minimum 16 maximum 256

interface Ethernet6/2
  inherit port-profile uplinkportprofile1

interface Ethernet6/3
  inherit port-profile uplinkportprofile2

interface Ethernet6/4
  inherit port-profile uplinportprofile3

interface Ethernet7/2
  inherit port-profile uplinkportprofile1

interface mgmt0
  ip address 172.28.15.163/24

interface Vethernet1

  inherit port-profile vm100

interface Vethernet2

  inherit port-profile vm100

interface Vethernet3

  inherit port-profile vm100

interface Vethernet4

  inherit port-profile vm100

interface Vethernet5

interface Vethernet6
boot kickstart bootflash:/svs-kickstart-mzg.4.0.1a.S1.0.82.bin sup-1
boot system bootflash:/svs-mzg.4.0.1a.S1.0.82.bin sup-1
boot system bootflash:/isan.bin sup-1
boot kickstart bootflash:/svs-kickstart-mzg.4.0.1a.S1.0.82.bin sup-2
boot system bootflash:/svs-mzg.4.0.1a.S1.0.82.bin sup-2
boot system bootflash:/isan.bin sup-2
ip route 0.0.0.0/0 172.28.15.1
```

```
port-profile uplinkportprofile1
  capability uplink
  vmware port-group
  switchport mode trunk
  switchport trunk allowed vlan 1,40-43
  no shutdown
  system vlan 1,40-43
  state enabled
port-profile vm100
  vmware port-group
  switchport mode access
  switchport access vlan 43
  ip port access-group my100 out
  ip port access-group my66 in
  no shutdown
  state enabled
port-profile uplinkportprofile2
  capability uplink
  vmware port-group
  switchport mode trunk
  switchport trunk allowed vlan 45-46
  no shutdown
  state enabled
port-profile uplinkportprofile3
  capability uplink
  vmware port-group
  switchport trunk allowed vlan 47-48
  state enabled
port-profile uplinkportprofile3
  no shutdown
svs-domain
  domain id 163
  control vlan 41
  packet vlan 42
svs connection VCR5
  protocol vmware-vim
  remote ip address 172.28.30.83
  vmware dvs datacenter-name cisco-DC
  connect
n1000v(config-acl)#
```

## モジュール情報の表示

この手順を使用して、Cisco Nexus 1000V から DVS のビューを含むモジュール情報を表示します。

### 始める前に

- 任意のコマンド モードで CLI にログインします。
- 「[vCenter Server への接続](#)」の手順 (P.4-1) を参照して、Cisco Nexus 1000V 接続を設定します。
- Cisco Nexus 1000V を vCenter Server または ESX に接続します。
- Server Administrator で、Cisco Nexus 1000V を実行しているホストを、vCenter Server の DVS に追加しておきます。

### 手順の概要

#### 1. show module



2. show server-info
3. show interface brief
4. show interface virtual

## 手順の詳細

	コマンド	説明
ステップ1	<b>show module</b>  例： n1000v# show module	モジュール情報を表示します。
ステップ2	<b>show server_info</b>  例： n1000v# show server_info	サーバ情報を表示します。
ステップ3	<b>show interface brief</b>  例： n1000v# show interface brief	vCenter Server へのアップリンクを含むインターフェイス情報を表示します。
ステップ4	<b>show interface virtual</b>  例： n1000v# show interface virtual	仮想インターフェイス情報を表示します。

## 例：

```

n1000v# show module
Mod  Ports  Module-Type                Model                Status
---  ---
1    1      Virtual Supervisor Module  Nexus1000V          active *
2    48     Virtual Ethernet Module    NA                   ok
3    48     Virtual Ethernet Module    NA                   ok

Mod  Sw                Hw                World-Wide-Name(s) (WWN)
---  ---
1    4.0(0)S1(0.82)    0.0              --
2    NA                0.0              --
3    NA                0.0              --

Mod  MAC-Address(es)                Serial-Num
---  ---
1    00-19-07-6c-5a-a8 to 00-19-07-6c-62-a8  NA
2    02-00-0c-00-02-00 to 02-00-0c-00-02-80  NA
3    02-00-0c-00-03-00 to 02-00-0c-00-03-80  NA

Mod  Server-IP          Server-UUID                Server-Name
---  ---
1    172.18.217.180    487701ee-6e87-c9e8-fb62-001a64d20a20  esx-1
2    172.18.117.44    487701ee-6e87-c9e8-fb62-001a64d20a20  esx-2

```

## ■ モジュール情報の表示

```
3 172.18.217.3 4876efdd-b563-9873-8b39-001a64644a24 esx-3
```

```
* this terminal session
```

**例：**

```
n1000v# show server_info
```

```
Mod      Status      UUID
----      -
2        powered-up  34303734-3239-5347-4838-323130344654
3        absent      371e5916-8505-3833-a02b-74a4122fc476
4        powered-up  4880a7a7-7b51-dd96-5561-001e4f3a22f9
5        absent      48840e85-e6f9-e298-85fc-001e4f3a2326
6        powered-up  eb084ba6-3b35-3031-a6fe-255506d10cd0
n1000v#
```

**例：**

```
n1000v# show interface brief
```

```
-----
Port   VRF      Status IP Address      Speed  MTU
-----
mgmt0  --      up      172.28.15.211   1000  1500
-----
```

```
-----
Ethernet  VLAN  Type Mode  Status Reason      Speed  Port
Interface
-----
Eth2/2    1     eth trunk up      none      a-1000 (D) --
-----
```

```
-----
Interface  VLAN  Type Mode  Status Reason      MTU
-----
```

**例：**

```
n1000v# show interface virtual
```

```
-----
Port      Adapter      Owner      Mod Host
-----
Veth49    R-VM-1      2         mcs-srvr35
-----
```